



国選定 卓越技能受章  
現代の名工 古庄 紀治  
2019.10.10

天然藍染に、こだわる人達がいる...



# 天然藍染展 Japan Blue

- ◆主催 天然藍匠同人
- ◆共催 みそや異服店  
橋本市橋本1丁目7-13  
TEL. 0736-32-4000
- ◆後援 五條市・徳島県・徳島市  
徳島新聞社・四国放送



## 知つてますか 藍の効用

**藍染ができるまで**  
藍は蓼科(タデ科)の一年草で高さ50~70cmに成長する。現在は徳島で藍染の原料として栽培されています。

**藍染の効用**  
長い年月で育かれた藍はその生活体験の中から、さまざまな効用が判明しました。

①薬用  
藍葉や、藍種は、ぶく中毒の解毒に、また解熱用として感冒薬として使われました。藍種：藍葉は、せんで飲むと健康増進によいとわれています。

②防虫  
藍は虫をよせつけないといわれ、へびなども近寄らないため、野良猫や、足袋など仕事着に藍染が用いられました。藍染のきものをタンスにいれておくとナフタリンはいりません。

③消臭・保温  
藍染の下着を着ると汗臭さがなく、しかも温ったかい。肌あれを防ぎ、冷え症によい。昔武士達が戦場に行くとき、下着は藍染だった。

④生地を強くする  
藍染は糸を強くするといわれています。昔の火消し装束、よろい、かぶとのひも、剣道着、などに藍染が用いられました。

⑤寝せ込み・水打ち  
9月上旬の大安の日に寝床800~1000貫の一番葉を入れ、水をかけてよく混ぜる。

⑥繰り返し  
5日毎に水を打ち切り返しをする。

⑦むしろ(ふとん)着せ  
⑤~⑦の作業を20数回くり返し、約120日をかけて「薬」が出来上がる。

⑧天然灰汁醗酵建て  
薬を灰汁(木の灰を熱湯に入れて作った上澄み液)で溶かし、ふすま・石灰・酒などを入れ、約10日間布が染まる状態になるのを待ちます。

- 1 種蒔き・苗取り**  
3月上旬、大安の日に種蒔きをします。
- 2 刈取り(一番刈、二番刈)**  
7月中旬、晴天の日に一番刈り。8月中旬、二番刈り。
- 3 葉と茎の選別**  
カッターで葉と茎を細くきざみ風を起こし選別する。
- 4 乾燥[天日乾燥]**  
9月上旬：天日干して葉藍を収穫します。

- 5 寝せ込み・水打ち**  
9月上旬の大安の日に寝床800~1000貫の一番葉を入れ、水をかけてよく混ぜる。
- 6 切り返し**  
5日毎に水を打ち切り返しをする。
- 7 むしろ(ふとん)着せ**  
⑤~⑦の作業を20数回くり返し、約120日をかけて「薬」が出来上がる。
- 8 天然灰汁醗酵建て**  
薬を灰汁(木の灰を熱湯に入れて作った上澄み液)で溶かし、ふすま・石灰・酒などを入れ、約10日間布が染まる状態になるのを待ちます。



平成22年  
7月15日(木)・16日(金)・17日(土)  
午前9時~午後6時(最終日は午後5時迄)

登録有形文化財 藤岡家住宅

奈良県五條市近内町526  
TEL 0747-22-4013



- 江戸時代衣裳資料展示  
江戸時代に着用された武家・商家の衣裳など、貴重な資料を公開。
- 藍染体験コーナー  
あなただけのオリジナルハンカチ&ひざ掛けを天然藍で染めてみませんか。
- 藍の出来るまでのパネル展示  
藍の種まきから、藍染原料「薬(すくも)」の出荷までを写真で紹介。
- 現代の名工 古庄紀治作品集  
徳島市無形文化財指定記念 新作発表!!
- ご予約特典  
●特別価格「藍のエプロン」  
●特別価格「藍のコットンマフラー」

- 〈天然藍染グッズ〉  
・日傘・帽子・Tシャツ・ブラウス  
・スカート・パンツ・スカーフ  
・作業衣・洋服・藍茶 など
- 〈天然藍染インテリア〉  
・のれん・タペストリー・ついたて  
・テーブルセンター・コースター など
- 〈天然藍染きもの〉  
・振袖・訪問着・小紋・紬着尺  
・綿紅梅ゆかた・名古屋帯・帯バ・帯揚など